

生きる喜びに気付く

皆さま、お変わりなく「お元気」にお過ごしでしょうか？世間は相変わらず「コロナ・コロナ」で息苦しいですね。6月には東京の歌舞伎座で、市川猿之助さん主演の『日蓮』が上演される運びになっています。この上演は、日蓮宗が主催の公演で、数年の歳月をかけて準備してきた私達「日蓮宗」にとって本当に大切な演目です。ただ、ご存知のような世相です。コロナ感染拡大によって、6月の公演も既に、七日（月）と十七日（木）を休演するとの発表が出されました。現在のところ2日間の休演発表にとどまっていますが、『緊急事態宣言』や『蔓延防止等重点措置』に指定される可能性も十分あります。そうなると、全ての公演予定を、休演せざるを得ない状況になります。これだけは何としても避けてほしいと願っているところです。

●【肺炎で入院しました】
さてさて、その為には、何より自分自身が感染予防を徹底して、感染しないように努めることが肝心です。これを書いている今現在の私が、それを心の底から思っているところです。というのも、実は、三月三十日〜四月十二日までの2週間、『肺炎』で「ろうさい病院」に入院するという不覚を取ってしまったからです。自分自身が正直、驚きました。空咳が続いていたので母から耳にタコができるくらい「早く検査に行っておいで」と言われていたのに、「そのうち治るだろう」と高を括っていたのです。忙しさにかまけて、体を酷使した当然の結果でした。

●【ありがたいこと、おかげさま】
入院して気付くことがあります。それは、健康なのが当たり前。普通に生活できるのが当たり前と、どこかで無意識のうちに思っていた自分がいたことです。頭では分かっていたつもりですが、「喉元過ぎれば熱さを忘れる」と言うじゃありませんか。渦中に居る時は、誰だっけ身をもつて理解していることでも、時間が経てば、誰かに感謝したことも、何かに反省したことも、自分に都合良く忘れていくのが私達ではないでしょうか

●【ありがたいこと、おかげさま】
PCR検査をはじめ、全三種類の「コロナ検査」、二種類の「インフルエンザ検査」を行いました。「コロナ検査」は軽いものから重いものまで三種類もあるんですね。病院で徹底的に検査してもらって、結果は「陰性」。コロナではなくホツとしました。あの検査結果が出るまでの待ち時間って長く感じますねえ。死刑執行を待っている囚人のようでした（笑）。

●【ありがたいこと、おかげさま】
と言うわけで、私達はいつ何時「病氣」になるかわかりません。自分は大丈夫という保証は無いというのを実感しました。ちなみに、「マイコプラズマ肺炎」は一日四本の点滴を二週間続けて、完全に菌を死滅させたら、今後「再発」する事は無いとのことでした。檀信徒の皆さま、益々パワフルな副住職で精進していきませうので、どうかご安心下さいね。

ね。私は入院中、家族をはじめ、多くの知人友人からお見舞いの気持ちをお寄せ頂けました。本当に元気を貰いましたし、有り難く、お陰さまの念を改めて深くすることが出来ました。この経験は石に刻んで忘れないようにしたいと思っています。防備録ではないですが、大切な思いを自分自身の心に刻むためにも、あえてここに書かせて頂きました。

では、せっかくなので「ありがたい」と「おかげさま」について、深掘りしたいと思えます。まずは「ありがたい」と。これを漢字にすると「有り難う」。

つまり有り難いこと、めつたにないこと、奇跡という意味があつて、仏教に由来しています。『盲亀浮木の譬え』もうきふぼくのたとえ」という話があります。ある時、お釈迦様が阿難（あなん）という弟子に、「人間に生まれたことをどれくらい喜んでゐるか？」と尋ねました。阿難が答えに窮していると、お釈迦様は次の様な譬え話をされました。「果てしなく広がる海の底に、眼の見えない亀がいる。その亀は、百年に一度、海面に顔を出す。広い海には一本の丸太が浮いている。その丸太の真ん中には、小さな穴がある。丸太は、風に吹かれるまま、波に揺られるまま、西へ東へ、南へ北へと漂っている。

阿難よ、百年に一度浮かび上がる

その眼の見えない亀が、浮かび上がった拍子に、丸太の穴に、ひよいつと頭を入れることがあると思うか？私達が人間に生まれる事は、その亀が、丸太棒の穴に首を入れることがあつたよりも、難しい事なのだ。ありがたいことなのだ」と教えられたのだそうです。

私たちは人間として生まれてきたことを当たり前のように思っているかもしれませんが、でも実は、何億年、何兆年に一度しか無いような稀(まれ)なこと、奇跡的な事なのだそうですね。

つまり日本語の「ありがとう」は、自分が生まれてきたことに感謝を表す言葉です。貧乏であろうが、病気であろうが、運が悪かろうが、どんな状態であっても、生まれてきた限りは有り難うにめつたにない。奇跡。

そんな思いが込められている「ありがとう」を、心を込めて言う時、本当の「ありがとう」に気づけるのかもしれないね。

お次は「おかげさま」です。他の国には無い言葉なのです。それを証拠に、欧米人に「おかげさま」を教えたなら、「何のお陰ですか？(何に感謝するのですか?)」と不思議がられたという逸話もあります。

私達日本人には、誰のお陰か分からなくても通じます。自分を生

み育ててくれた両親のお陰、ご先祖様のお陰、太陽のお陰、水のお陰、空気のお陰、地球のお陰、大自然の恵みのお陰ということになるでしょうかね。

八百万の神様と言います。日本人は古来、全てのものに神様や仏様を感じていました。眼に見えないモノに対する敬虔(けいけん)な気持ちを持つて生きてきた民族です。ですから、何に對しても「おかげさま」と言うことが出来るでしょう。たとえ震災であろうと、病気であろうと、自分がどれほど辛いことに直面していたとしても、「おかげさま」という感謝の気持ちを持ちを祖先達から伝承されてきた私達日本人です。「おかげさま」という感謝のDNAを備えているという事なのでしよう。日本は、海を渡って入って来た外来の文化を上手に取り入れてきました。古くからの伝統を無くすことなく、上手く融合させています。外から来る文化を無条件に受け入れるのではなく、日本に根付くものだけを取捨選択して取り入れてきました。外来の様々な知識や技術を取り入れる一方で、例えば西洋のように自然と敵対し、自然を支配しようという考えではなく、自然を敬い、自然と共に暮らす生き方を「自然に」続けてきました。こうした自然と調和のとれた日本人の精神や文化が、混乱と不安に満ちた今の世界に必要なと思います。

自分さえ良ければ良いという世界は日本にはありません。個は全体のために調和し、全体は個の集合体です。まずは自らを律し、国家の安寧(あんねい)を感謝の念で祈り合ひましよう。

合掌 副住職 谷川寛敬

ユーチューブ (YouTube)
『かんちゃん住職』を配信中です。

左記のQRコードからも入れます。



皆さまから届いたリクエストや、ご質問などにも、お答えしていきます。

ユーチューブチャンネル

『かんちゃん住職』

ご視聴よろしく願ひします。

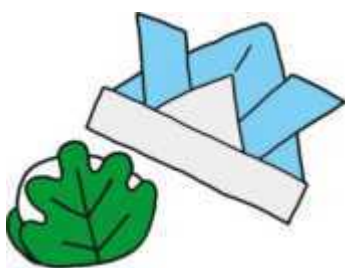
来月のご案内

『祠堂大法要』

▼六月十三日(日)

▼午前十時半〜

(午前中のみのお参りです)



真ごころちゃん